

# 人間関係講座（グループ）第120回 [冬]

## -グループの中での人間関係の理解のために-

担当者	伊東 留美（南山大学人文学部心理人間学科 准教授） 楠本 和彦（南山大学人文学部心理人間学科 教授）
概要	<p>この講座では、「体験学習」という方法を用いて、グループの中で起こる様々な事柄を捉える視点を養うことを目指します。</p> <p>私たちは、会社や組織、家族や仲間関係など、様々なグループに身をおいています。そのなかでは、どのようなことが起こっているのでしょうか。講座では、取り組んでいる事柄（コンテンツ）だけではなく、人と課題の関わりや人と人の関わり（プロセス）について見ていく枠組みをご紹介します。</p> <p>この講座のねらいは、以下の2つの分野です。</p> <p>①グループの中での人間関係（グループプロセス）に目を向け、グループプロセスに気づく力を養う ②グループの中での自分や他者の特徴に気づく</p> <p>この講座では、ラボラトリー方式の体験学習を用いた実習と、グループに関する理論の小講義によって学習を進めていきます。実際にグループによる実習に参加し、その過程を丁寧にふりかえり、メンバーとわかちあうことを通して、起こっていることに目を向けていきます。そのなかでは、グループの中での自分や他者の特徴についても理解が深まることが期待されます。グループの人間関係について関心がある方、理解を深めたい方にお勧めです。</p> <p>【プログラムの内容（予定）】 小講義「グループプロセスとは？」 「グループでの意思決定」 「リーダーシップ」 など グループでの問題解決実習 グループでのコンセンサス実習 グループでの制作型実習</p>
日程	2022年12月17日(土)10:00~18:00 12月18日(日)9:00~17:00
定員	24名
会場	南山大学 D棟5階 D51教室
受講料	15,400円〈税込〉
メルマガ講座報告	<p style="text-align: right;">担当講師 伊東 留美 記</p> <p>2022年12月17日（土）・18日（日）、南山大学のD棟51教室にて人間関係研究センター公開講座「第120回人間関係講座（グループ）」が対面で開催されました。2020年度と2021年度と同講座はコロナ禍で対面開講が叶わず、今回久しぶりの対面開講となりました。私（伊東）は、楠本和彦先生と久しぶりに講座を担当させていただきました。教室で受講生の皆さんと「今ここ」で共に過ごすことができ、「この感覚だったなあ」と思い出しながら、2日間を過ごしました。</p> <p>初日（12月17日）の午前中に行った「ねらい作り」では、実際に皆さんがクレヨンを使って書く・描く姿を見て、教室の中に彩を感じました。午後にグループで行った「名画鑑賞」でメンバーの「お～」という声が聞こえた時、私もその声で反応したくなったりしました。また、2日目の小講義やグループワークでも熱心にメモを取ったり、ふりかえり記入と分かち合いで一人ひとり丁寧に発言されている様子を見ながら、その場にいることの力のようなものを感じました。対面で久しぶりに実施できた「ブロックモデル」では歓声が起きる場面もあり、このメンバーでのここでの体験を共に分かち合う雰囲気にも包まれていたと感じました。</p> <p>そうした中、2日目の午後の最後の実習「現場に向けて」のあたりで、大阪・東京間の新幹線が止まったことを知り、受講生だけでなく我々も一気に現実に引き戻されました（笑）。翌朝のニュースで、停電が原因で4時間以上運転再開ができず、10万人以上の利用者に影響があったことを知りました。利用予定者の中には「列車ホテル」となった新幹線に宿泊を余儀なくされた方もいたと知りました。本講座の受講生の方、帰りの道中大変だった方もおられたと思います。本当にお疲れ様でした！</p>